

コース名		科目名			対象学年		
臨床医学		免疫・アレルギー疾患			4		
開講学期		科目責任者		副責任者			
1 学期		佐々木 環		中野 和久			
目的							
専門的な医学知識と診療技能の修得のため、膠原病などの自己免疫疾患やアレルギー疾患について理解することが本科目の目的である。							
授業到達目標							
【免疫系】							
1. 代表的な膠原病を列挙でき、その特徴を説明できる。							
2. 代表的な自己抗体を列挙でき、その臨床的意義を説明できる。							
3. 関節炎をきたす疾患を列挙し、その特徴を説明できる。							
4. 全身性エリテマトーデスの病態生理、症候、診断と治療を説明できる。							
5. 関節リウマチの病態生理、症候、診断と治療を説明できる。							
6. 皮膚筋炎・多発性筋炎の症候、診断と治療を説明できる。							
7. 全身性強皮症・混合性結合組織病の病態生理、症候、診断と治療を説明できる。							
8. 血管炎症候群を列挙し、その病態生理、症候、診断と治療を説明できる。							
9. Sjögren 症候群・Behçet 病を概説できる。							
【アレルギー系】							
1. アレルギー疾患の特徴とその発症を概説できる。							
基礎医学知識の土台の上に、臨床医学を理解する姿勢は医師として一生必要である。本科目では自己免疫疾患やアレルギー疾患はなぜおこるのか？ という問いに対し、免疫学の知識を基に病因や病態と合わせて説明することができることも、授業到達目標とする。							
授業計画							
回数	月日	曜日	時限	区分	担当者	所属	授業内容
1	4/ 4	木	5	講義	中野和	リウマチ	関節リウマチ (I) : 症状と検査
2	4/ 4	木	6	講義	中野和	リウマチ	関節リウマチ (II) : 治療
3	4/ 8	月	5	講義	藤田俊	リウマチ	多発性筋炎・皮膚筋炎
4	4/ 8	月	6	講義	藤田俊	リウマチ	全身性強皮症・混合性結合組織病
5	4/22	月	5	講義	中野和	リウマチ	全身性エリテマトーデス (SLE)
6	4/22	月	6	講義	中野和	リウマチ	脊椎関節炎
7	5/ 2	木	5	講義	佐々木環	腎内	膠原病の腎障害
8	5/ 2	木	6	実習	西村広	病理	免疫異常の病理実習 (I) : ループス腎炎、全身性強皮症
9	5/ 9	木	5	講義	藤田俊	リウマチ	Sjögren 症候群・IgG4 関連疾患・成人 Still 病
10	5/ 9	木	6	実習	西村広	病理	免疫異常の病理実習 (II) : 関節リウマチ、Sjögren 症候群、IgG4 関連疾患
11	5/16	木	5	講義	中野和	リウマチ	血管炎症候群 (I) : 大型・中型血管炎
12	5/16	木	6	講義	中野和	リウマチ	血管炎症候群 (II) : 小型血管炎
13	5/23	木	5	講義	藤田俊	リウマチ	関節炎の鑑別診断 ーリウマチ性多発筋痛症・痛風も含めてー
14	5/23	木	6	実習	西村広	病理	免疫異常の病理実習 (III) : 筋炎、血管炎
15	5/30	木	5	講義	向井知	免疫	自己炎症性疾患・Behçet 病
16	5/30	木	6	講義	向井知	免疫	免疫不全・アレルギー
17	6/ 6	木	5	講義	向井知	免疫	CBT・国家試験対策の基礎免疫学

評価方法
<p>[期末試験]95% (学期末に試験を行う。)</p> <p>[レポート]5% (病理実習レポートを評価する。)</p> <p>[評価方法]多肢選択試験、論文・レポート</p>
課題 (試験やレポート等) に対するフィードバックについて
<p>病理実習レポートは返却し、レポート全体に対して一括した評価をフィードバックする。レポートは、教員の指示に従って作成すること。レポートに生成 AI を使用する場合は、「川崎医科大学の生成 AI 取扱い指針」に従い、使用した生成 AI の種類、引用箇所、prompt 内容を提示すること。</p> <p>試験の回答に質問がある場合は講義担当者あるいは科目責任者に直接連絡してください。</p>
教科書
<p>ISBN-9784254322712, 内科学, 矢崎義雄総編集 ; 赤司浩一 [ほか] 編集, 朝倉書店, 2017</p> <p>ISBN-9784895928649, エッセンシャル免疫学 第3版, ピーター・パラム著, メディカル・サイエンス・インターナショナル, 2016/9/2</p>
参考書
<p>ISBN-9784758318075, Evidence Based Medicine を活かす膠原病・リウマチ診療, 東京女子医科大学病院膠原病リウマチ痛風センター編, メジカルビュー社, 2020</p> <p>ISBN-9784525167547, 免疫学コア講義 改訂4版, 熊ノ郷淳 [ほか] 編集, 南山堂, 2017/11/15</p> <p>ISBN-9784758120807, 免疫ペディア : 101 のイラストで免疫学・臨床免疫学に強くなる!, 熊ノ郷淳編集, 羊土社, 2017</p> <p>ISBN-9784896327205, 病気がみえる vol.6 免疫・膠原病・感染症, 医療情報科学研究所編, Medic Media, 2018</p>
準備学習 (予習・復習等)
<p>予習: 開講するまでに免疫と生体防御の講義を少なくとも数時間かけて復習しておくこと。</p> <p>復習: 講義中に学習した内容に関する問題を解き、解説を行う。毎回の講義後には30分程度復習をすること。</p> <p>各疾患を学んだ後に、「膠原病の腎障害」「関節炎の鑑別診断」など臓器病変から複数の疾患をまとめて学ぶ講義や「病理実習」がある。これらの講義や実習を受ける前には、疾患別講義の内容を数時間かけて復習しておくこと。</p>
講義についての注意事項
<p>「病理実習」に関しては、マルチメディア教室 (M-710) でバーチャルスライドを用いて行う。2学年で購入した病理実習用レポート用紙を準備すること。</p>
昨年度からの変更点・改善項目
<p>小児科学担当の「小児の膠原病」「小児のアレルギー(I)」「小児のアレルギー(II)」の計3回の講義を減らし、全17回の講義とした。</p>
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連について
<p>この科目は主としてコンピテンスの「Ⅲ. 情報・科学技術を活かす能力」の達成、中でも特に「2. 全身に及ぶ生理的変化や構造の異常を病因や病態と合わせて説明できる」と「3. 病態から臨床症状、診断方法や治療方法を説明できる」に向けて設定されている。また、臨床実習開始のために必要な医学知識を習得し臨床医学を理解する。</p>
ナンバリング
DPCA408